



9 月度振興会ミニ通信を担当する相双圏域の佐藤です。

★社会福祉法人由木かたくりの会の被災地訪問★

東日本大震災以降、現在も継続して本県施設製品の販売支援をしている「由木かたくりの会」の炭谷晃男理事長が籍をおいている大妻女子大学の学生5名とともに、震災後の状況視察のために、9月13日来福されました。

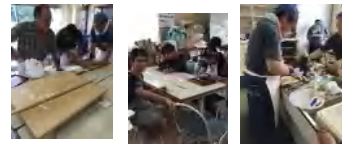


南相馬市の「ほっと悠」が運営している小高区役所内の「café いっぴくや」でほっと悠の村田純子理事長（本会副会長）から状況説明を聞いた後、ボランティアガイドの案内で震災地を視察しました。その後、相馬市の仮設住宅を訪問し、高齢者の皆さん方を対象に「携帯電話・スマートフォン教室」を行い、高齢者の方に大変感謝されました。販売支援がこのような形で交流が生まれたことは振興会にとっては貴重な財産です。

★NPO 法人手打職人集団むげんの被災地支援★

本年3月に、千葉県柏市にある手打ちうどん屋の店を開業して丸5年目の就労支援B型事業所 NPO 法人手打職人集団むげんの施設長 近池豊子様より、東日本大震災の後、福島県浜通りで大変苦勞している同じ障がい施設の皆さんに支援活動として、手打ちうどんの実演をして食べてもらいたいとの内容の電話を頂きました。むげんの職員さんが下見に来られて現状確認をし、南相馬市鹿島にある自立研修所ビーンズで実演を行うこととなりました。

実演当日の8月2日は、むげんの職員さんの運転する車で、利用者さんとボランティアとして参加の利用者のご両親の方達が早朝に柏市を出発し、うどんの材料、道具一式、食器を持参してビーンズまで来てくれました。手打ちうどんの実演は、ビーンズの



利用者さんはじめ職員さんも初めての体験で、4種類の手打ちうどんをいただき、みなさんがおいしい！！と大好評でした。食後、ビーンズの郡施設長・北畑所長から東日本大震災3・11の当時の現状の話をお聞かせいただきました。



最後にビーンズの利用者さんとむげんの利用者さんと懇談し、いい一日を過ごすことができました。

今後よければ、各施設間でこのような交流があれば利用者さんも元気になり前向きになるのではないのでしょうか。

★イオン相馬店で施設製品を販売★

イオン相馬店で県内の6事業所の商品を販売しておりますので、お近くにお越しの際は お立ち寄りください。

(震災復興支援員 相双圏域担当 佐藤)

《事務局から》

「アンテナショップ福祉の店ふくしま」第2期を下記のとおり開催します。

皆様のお越しをお待ちしております。

開催日時：平成28年10月20日（木）～25日（火）10:00～19:00

※最終日25日（火）は15:00まで

開催場所：中合福島店 一番館1階 東側入口（福島市栄町5-1）

